

こんにちは！

地域おこし協力隊です

今回は、6月に地域おこし協力隊(地域づくり担当)に任命された、小縣力郎さんを紹介します。

【自己紹介】

6月1日付で、令和5年度の「地域おこし協力隊」を拝命しました、小縣力郎(おがたりきろう)と申します。前職は旅行会社に勤務しており、これまで東京や海外で生活をしていました。これまで訪問した国や都市は、56各国、約500都市となります。

臼杵市とのご縁は35年前、社会人として初めて営業を担当したのが臼杵市で、その時から臼杵の歴史文化度の高さ、海山の自然の豊かさ、そして素敵な人々と街並みに魅力を感じていました。既に5月より家族で臼杵市に移住しました。

まず1年目の活動としては、これまで培った経験や知見が「地域の要望」や「課題解決」のために役立てるよう、地域の方々と交流や理解を深めていくことです。その際は、「小縣(おがた)さん」「力郎さん」と暖かく声をかけていただくと嬉しいです。どうぞよろしく願いいたします。



【3年間の活動指針】

- 1年目：地域とそこに住む人をする事、地域の人にとってもらうことを目標。
- 2年目：気づきや興味のあることを整理し、市役所と協議の上、今後の方向性やミッションを設定。
- 3年目：これまでの活動を集約しつつ、任期後にむけ、どう繋げていくのか、どう残していくのかを形作る時間とする。

臼杵に住んでみて感じたことは、「目に見える」ものの背景には、「目に見えない」、何か不思議な「パワー」が流れていること。それは「何だろうか?」と思ったとき、ふっと頭に浮かんだのが、「地」「水」「火」「風」「空」の自然の五大元素であり、ここに住む人々の源となっていると、下南地区の「田植え」に参加した時、強く感じました。

どんな時代においても、「持続可能」で、更に臼杵が100年続いて行くために、この3年間で真(シン)の臼杵人になり、少しでも貢献できたら嬉しいです！そして家内と共に、豊かで幸せな生活を目指していきます。